

## 1-3-21-2 飛騨の絵馬（紙製）

「絵馬」とは、お祈りやお願いのために、神社やお寺に奉納する絵の額のことをいう。生きた馬の代わりに絵に描いて奉納したのが始まりで、屋根形の板に描かれた小絵馬や大形の額絵馬（大絵馬）などがある。現在でも、神社で「合格祈願」、「家内安全」などの願い事が書かれた絵馬がたくさん掛けられている。

飛騨の「絵馬」は、全国的にも珍しい紙製であり、神社だけではなく、それぞれの家の玄関に貼る。古くは牛馬の安全や稼ぎなどを祈願したものであった。牛馬は外で働くものなので、農家では外に向けて貼っていたといわれる。

一方、商家などでは、家の内側に向かって馬が駆け込むように紙絵馬を貼って、商売繁盛や家内安全などを祈願する縁起物として、現在では、この貼り方が一般的になっている。

説明板より